

平成27年度5月広瀬川アユ遡上調査速報

平成27年6月3日
宮城県水産技術総合センター
内水面水産試験場

宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場では、アユの遡上状況の情報提供と資源管理のための基礎データを得るため、広瀬川においてアユの遡上状況を毎年調査し、その状況を皆様にお知らせしています。

今年度の5月分の結果は以下のとおりです。

[調査内容]

・調査地点

調査点1：名取川との分岐点から500m上流（河口から7.5km）

調査点2：愛宕大橋から200m下流（河口から11.5km）

・調査日

5月上旬（5月7日）午前9時から正午まで

5月中旬（5月19日）午前9時から正午まで

5月下旬（5月28日）午前9時から正午まで

・調査方法

各調査点において、それぞれ投網を10投打ち、1投あたりの平均採捕尾数を求めました。採集したアユは、1調査点あたり50尾を上限に、試験場に持ち帰り、大きさ（尾叉長）と体重を測定しました。

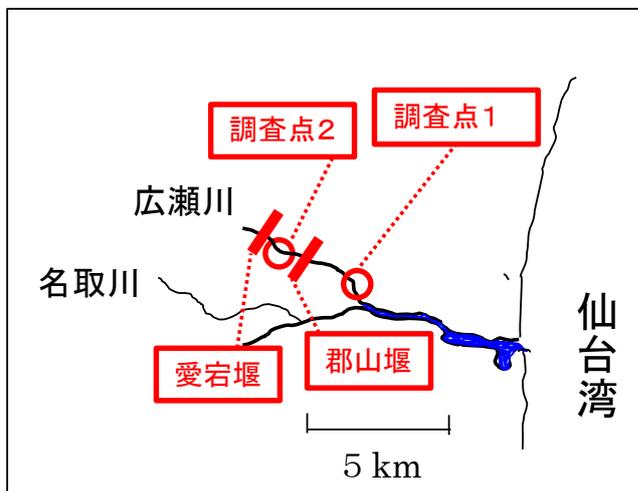


図1 調査点



写真1 調査風景（調査点1）



写真2 調査風景（調査点2）

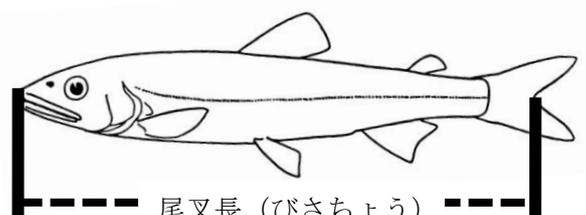


図2 アユの大きさ（尾叉長）

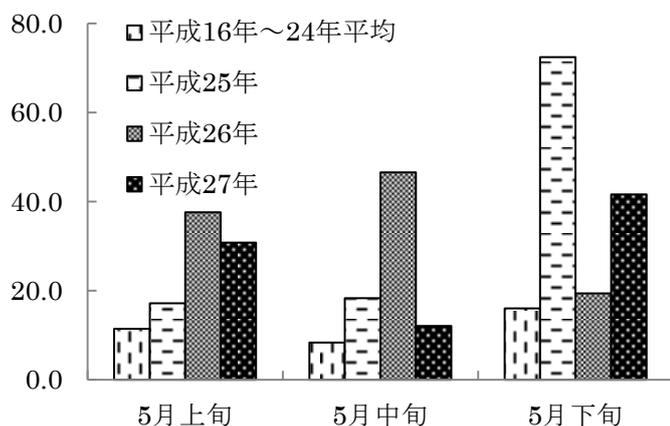
〔調査結果〕

調査点1では、5月上旬に平均30.8尾、中旬に平均12.1尾、下旬に平均41.6尾のアユが採捕されました。5月上旬と下旬では、平年（平成16～24年平均）に比べて多数のアユの遡上が見られました。

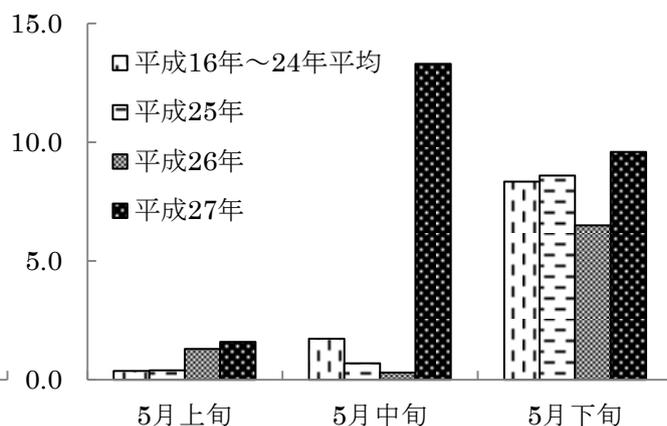
調査点2では、5月上旬に平均1.6尾、中旬に平均13.3尾、下旬に平均10尾のアユが採捕されました。5月中旬に平年を大幅に上回るアユの遡上が見られ、これは調査日前の適度な降雨により遡上に必要な水量が十分確保されたものと考えられました。

平均サイズ（尾叉長）は、5月上旬では調査点1で8.6cm、調査点2で9.4cmだったものが、下旬では調査点1・2共に10cm程度まで成長しており、概ね順調な生育状況であると考えられました。

当场ではアユ漁解禁前の6月にも上旬・中旬・下旬の3回にわたって調査を予定しており、今後の遡上状況も引き続き皆様にお知らせしていきます。



調査点1での投網1投あたりのアユの平均採捕尾数



調査点2での投網1投あたりのアユの平均採捕尾数

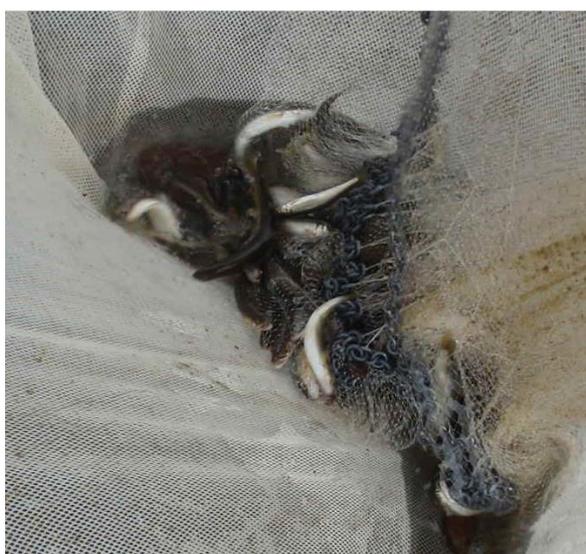


写真3 採捕されたアユ

平成27年度6月広瀬川アユ遡上調査速報

平成27年6月30日
宮城県水産技術総合センター
内水面水産試験場

宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場では、アユの遡上状況の情報提供と資源管理のための基礎データを得るため、広瀬川においてアユの遡上状況を毎年調査し、その状況を皆様にお知らせしています。

アユ釣りの解禁が近づいてまいりました。今年度の6月分の結果は以下のとおりです。

[調査内容]

・調査地点

調査点1：名取川との分岐点から500m上流（河口から7.5km）

調査点2：愛宕大橋から200m下流（河口から11.5km）

・調査日

6月上旬（6月3日）午前9時から正午まで

6月中旬（6月12日）午前9時から正午まで

6月下旬（6月23日）午前9時から正午まで

・調査方法

各調査点において、それぞれ投網を10投打ち、1投あたりの平均採捕尾数を求めました。採集したアユは、1調査点あたり50尾を上限に試験場に持ち帰り、大きさ（尾叉長）と体重を測定しました。

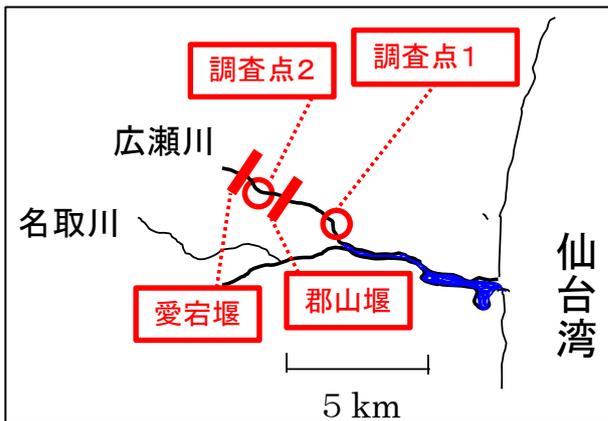


図1 調査点



写真1 調査風景（調査点1）



写真2 調査風景（調査点2）

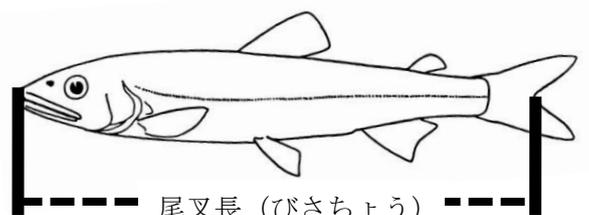


図2 アユの大きさ（尾叉長）

[調査結果]

調査点1では、6月上旬に平均29.5尾、中旬に平均25.4尾、下旬に平均13.3尾のアユが採捕されました。今年度の6月の3回の調査全てで、平年の6月(平成16~24年平均)に比べて多数のアユの遡上が見られました。

調査点2では、6月上旬に平均7.5尾、中旬に平均12.2尾、下旬に平均8尾のアユが採捕されました。6月上旬と中旬は平年並みの遡上量でした。6月下旬については平年の半分程度の遡上量でしたが、これは今年度の6月の降雨量が少なく、調査点2の投網でアユが採捕できる場所の水量が減ったため、アユが調査点2の深みに集まり、投網ではあまり採捕できなかったためと考えられます。

平均サイズ(尾叉長)は、6月上旬では調査点1と調査点2で共に10cm程度でした。下旬では調査点1は10cm程度を維持しており、調査点2では11cm程度まで成長していました。平均サイズは2つの調査点で共に昨年よりやや大きく、順調に生育していると考えられました。

今年度のアユの遡上調査は6月をもって終了いたします。今年は昨年より遡上量が多いため、昨年より豊漁になると予想されます。

※今年度は、調査点2の上流でも5月下旬と6月下旬に調査を行いました。2回とも調査点1・2よりも大型の個体が多く(尾叉長14cm前後)、天然遡上の個体もみられました。

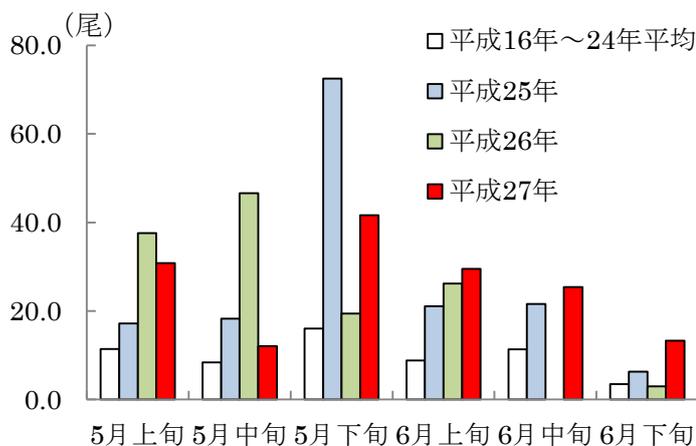


図3 調査点1での投網1投あたりのアユの平均採捕尾数

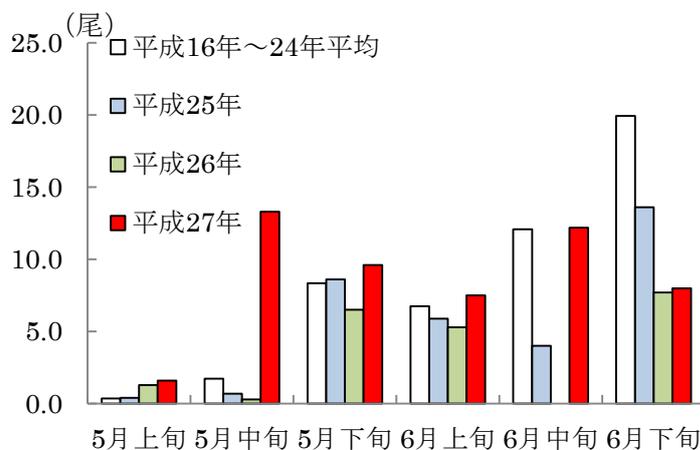


図4 調査点2での投網1投あたりのアユの平均採捕尾数



写真3 調査点2の深み(白丸内)



写真4 採捕されたアユ